

**注意！**

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意下さい。

# 農作物技術情報 第3号 畜産

発行日 平成22年 5月27日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4435)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

今後2週間程度低温が予想されています。以下に留意して農作物の管理に努めましょう。

○天候不順時はラップサイレージ主体で効率的な調製をしましょう。

これから一番草の収穫時期に入りますが、今後2週間低温や天候不順が予想されています。

天候不順により収穫作業が遅れると牧草の倒伏が始まり収量及び品質も低下します。天気予報に留意し、乾草調製が難しい時はラップサイレージ調製で対応し、なるべく作業が遅れないようにしましょう。

■牧草 増収を期待した遅刈りは栄養価が低下し、刈取り後の生育に悪影響を及ぼします。適期刈り取りを行うとともに、調製方式に応じた水分含量となるように努めましょう。

■飼料用 除草剤の生育期処理は適期に行いましょう。

トウモロコシ 強害外来雑草については被害拡大防止のため対策をしましょう。

■口蹄疫 牛や豚などの偶蹄類の家畜を飼養している農家では、衛生対策を励行しましょう。

## 1 牧草

### (1) 草の生育と作業の状況

今年は消雪が遅かったことから肥料散布作業が遅れました。また4月は気温が低く日照時間も少なく推移しました。これらのことから牧草の生育が遅れていますが、オーチャードグラスの出穂は平年並に始まってきており、1番草の刈り取り作業を開始した圃場もみられます。

### (2) 草の収穫適期

図は、オーチャードグラスの1番草の収量と栄養価の推移を示したものです。

1番草は生育が進むにつれ草丈が高くなり、収量と繊維含量が増加します。反対に、出穂始め以降、消化率、可消化養分総量、蛋白質含量が急速に減少します。

1番草の収穫は収量を確保しつつ栄養価が高い時期、すなわち『出穂始めから出穂期』に行うことが適切です。

今年は草丈がやや低い状態で出穂する圃場が多いと思いますが、収穫適期は同じです。刈り遅れないようにしましょう。

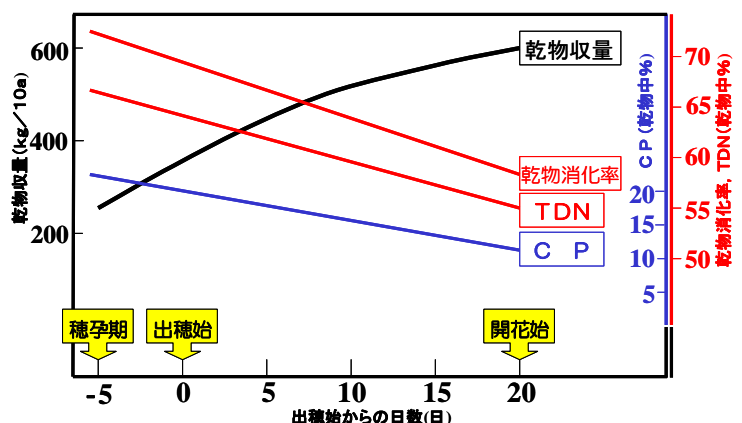


図 1番草収量・栄養価の時的推移(オーチャードグラス)

### (3) 牧草の刈取り高さ

牧草の刈取り高さは、再生力の強弱を決定する重要な要因です。

牧草は極端な低刈りでは、生長点が切除されるほか、同化作用を担う緑葉が刈り取られるとともに、貯蔵器官の一部が取り去られ貯蔵養分総量が少なくなるため、再生が悪くなります。

一方、極端な高刈りの場合は収量が減少します。したがって、牧草の刈取り高さは、牧草の再生力と収量確保の両面を考慮して、地際から10cm程度が適当です。

### (4) 牧草サイレージの調製

- (ア) 原料草を予乾して適切な水分含量にして調製するのが基本です。予乾せずにサイレージを作ると、排汁により養分が失われます。また、不良発酵（酪酸発酵）の原因にもなります。このため、ロールベールサイレージは水分を50～60%弱に、タワーサイロやバンカーサイロ等では水分を65～70%に調整しましょう。
- (イ) 土砂の混入は不良発酵の原因となりますので、作業スピードを落とし圃場の凹凸に注意しながら収穫作業をしましょう。
- (ウ) ロールベールサイレージに調製する場合、ロール成形後ラッピングまで時間が大幅に経過すると品質は大きく低下します。ロール成形後は直ちにラップし、必ず成形当日にラップ作業を行うようにしましょう（表1）。

表1 密封遅延時間とラップサイレージの品質

試験区	水分 (%)	ph	有機酸組成(%、FM)				VBN/TN	乾物密度 (kg/m <sup>3</sup> )
			乳酸	酢酸	プロピオン酸	酪酸		
24時間	63.2	6.1	0.91	0.1	0.08	0.12	13.7	126
12時間	59.6	5	1.82	0.12	0.06	—	7.5	134
2時間	63.8	4.5	1.64	0.11	0.06	—	6	128
1時間	56.5	5	1.08	0.09	0.1	—	5.2	112
梱包直後	55.8	4.8	1.26	0.1	0.09	—	5.2	148

- 1)原料草はイタリアン、エンバク(40%)混播
- 2)5月21日調整(フィルム2階巻、4層)、6月20日開封
- 3)VBN/TN:全窒素中の揮発性窒素化合物の割合(草地試1991)

### (5) 乾草の調製

中途半端な水分での梱包はカビの発生を増長し、品質低下を招きます。また、発熱しやすく、自然発火・くん炭化の原因となります。

2～3日快晴が続くと予想される期間に刈り取りましょう。予乾が早く進み水分含量が20%以下にすると、収穫した牧草の呼吸が止まるため、糖、タンパク質、アミノ酸の損失が少なくなり、栄養価の高い乾草ができます。

### (6) 刈取り後の追肥

2番草の生育を促すため、刈取り後直ちに追肥を行いましょう。施肥量の目安は、10a当たり成分量で窒素5kg、リン酸2.5kg、カリ5kgです。

## 2 飼料用トウモロコシ

### (1) 除草剤の生育期処理

播種時の土壌処理でうまく除草が出来なかった場合は生育期処理を行います。散布時期はトウモロコシ2～6葉期ですが、農薬毎に違うので使用する農薬の使用方法を必ず確認下さい。また、薬剤において効果がある雑草も違うので圃場の雑草を確認のうえ除草剤を選びます。最近、強害外来雑草（イチビ、ワルナスビ等）がトウモロコシ圃場で急速に拡大しています。発生時期が遅く除草剤散布するタイミングが難しいですが、対策しないと急激に拡大しますので、シャドーやバサグラン等トウモロコシ5～6葉期まで使える除草剤にて防除願います。

## 3 口蹄疫に対する農場での衛生管理

4月20日に宮崎県で口蹄疫が発生しました。口蹄疫のウイルスは非常に強い感染力を持っているので、牛や豚などの偶蹄類の家畜を飼養されている農家では下記の事項について対策の実施をお願いします。

- [1] 関係者以外の方は農場への立ち入りをなるべく制限しましょう。
- [2] 畜舎内や畜舎周囲の敷地の消毒に努めましょう。
- [3] 家畜の観察は毎日、丁寧に実施しましょう。
- [4] おかしいなと思ったら、すぐに獣医師または最寄りの家畜保健衛生所へ連絡しましょう。

口蹄疫についての詳しい情報は動物衛生研究所のホームページでご確認いただけます。

<http://niah.naro.affrc.go.jp/disease/FMD/index.html>

**春の農作業安全月間実施中！**

**6月1日～8月31日は  
農薬危被害防止運動期間です**

農作業 慣れと油断が 落とし穴 初心を忘れず 安全第一

- 近隣住民・周辺環境に配慮しましょう。
- 農薬散布準備、作業中・後の事故に注意しましょう。
- 農薬の保管・管理は適切にしましょう

次号は6月29日（火）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。